

第2回目は、殿ダムの紹介です！  
(平成のピラミッド)

- F・・・洪水調整
- N・・・河川の正常な流量の維持
- W・・・上水道
- I・・・工業用水
- P・・・発電



# ダム探検



中谷  
晴子の

所在地：鳥取市国府町殿地先  
河川名：千代川水系袋川  
ゲート：自然調整ダムのため洪水調節ゲートは無  
堤高・堤頂長：75m(鳥取県内で一番の高さ)・294m  
総貯水容量：12,400千㎡  
管理者：国土交通省  
本体着工/完成年：2007/2011

殿ダムを動かす3つの技術

自然越流方式

選択取水設備

カスケード型減勢方式

## 掲示板



ランダム情報

R・・・ロックフィルダム(石を積み上げてつくるダム)

殿ダム水源地域は、山陰海岸ジオパーク扇の山エリアに含まれ、日本の滝百選の「雨滝」、鳥取県天然記念物の「管野ミズゴケ湿原」など、豊かな自然環境を有している。

こだわり技術

洪水吐きは、国内初となるカスケード型減勢方式を使用している。  
洪水吐きの導流部を階形状とし減勢効果を持たせ、従来の減勢部の影響範囲の縮小、施工の合理化によりコスト縮減が図れた。



まちづくり協議会より  
**資源回収のお知らせ**

日時 **10月20日(日)**  
午前8時～午前10時

収集場所 佐治町コミュニティセンター 玄関横

- 資源回収品目
- 段ボール ●牛乳パック
  - 新聞紙・チラシ ●アルミ缶
  - 本・雑誌類 ●スチール缶
  - アルミ製品 ●バッテリー
  - 衣類



9月は、お月見を作ってみました！

※ 当日お持ちいただけない方は、前日持ち込み下さい！  
※ 詳しくは市報10月号折込チラシをご覧ください

## 10月 行事 会議案内

※事業に参加希望の方は地区公民館までご連絡ください。  
会議については、対象となる方には随時通知でお知らせします。

問合せ：佐治地区公民館 TEL:88-0228 FAX:88-0219

佐治地区公民館

佐治町まちづくり協議会

佐治地区人権  
同和教育推進協議会

★ ものづくり教室  
革小物(キーケースづくり)  
10月6日(日)

- ★ あいさつ運動 10月15日(火)
- ★ 口佐治運動会 10月19日(土)
- ★ 資源回収 10月20日(日)
- ★ 視察研修(景観形成) 10月31日(木)
- ★ 山王ふれあい会館文化祭 10月27日(日)

★ 小グループ学習会各集落

Saji Chiku Kouminkan

2019.10月号

# Saji

佐治地区公民館だより

住所：鳥取市佐治町加瀬木2542-1  
TEL：0858-88-0228  
FAX：0858-88-0219

2019・10・1 October Vol.136

Email:cc-saji@it.city.tottori.tottori.jp

藪田 道男先生



ものづくり教室  
**ペンたてづくり**  
梨の木を使った



佐治地区公民館事業

やすりで磨いたよ！



ドリルで穴をあけたよ



絵を描いたよ！



8月20日(火) 午前10時～鳥取市ものづくりアドバイザー、梨の木工房の藪田道男さんを講師にお招きし、梨の木を使ったペンたてづくりを行いました。3種類のペンたての中から好きなデザインを選んでもらい、早速工作にとりかかりました。まずはやすりで木を磨いていきます。その後講師の先生におしえてもらいながら、順番にペンを立てる箇所を、ドリルを使って穴をあけていきました。ドリルを見るのも初めてで、子どもたちときどきあくあく！みんな真剣に行っていました。

最後は好きな絵を描いてペンたては完成！ペンたてが出来上がると、今度はこまづくり！はやく出来上がった子どもたちは、積み木のコーナーやこまのコーナーでそれぞれ遊びました。普段したことのない貴重な体験ができ、よい夏休みの思い出となったのではないのでしょうか

いい作品ができました



こまわりし



ぴよんぴよん取材





# みんなと学び隊

## 熊野神社遺跡探検（佐治小学校児童）

例年6年生を対象に遺跡学習を行っていましたが、今年度は全学年の希望する児童を対象とし、夏休み中の8月21(水)に実施しました。

1年生～5年生までの児童11名の参加があり、熊野神社の遺跡見学、小鳥居くぐり体験・弓矢体験など、子どもたちは楽しみながら学習することができました。

小鳥居くぐりでは、ご利益がありますように！とお願いしながらくぐりました。

子どもたちにとっては、佐治にある文化財にふれることができ、貴重な体験となりました。

ご協力いただいた熊野会のみな様、ありがとうございました。

《佐治町まちづくり協議会》

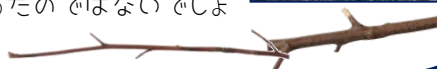


## 森林伐採体験（佐治小学校4年生）

9月17日(火)、佐治小学校4年生11名が総合学習の時間で、山王自然塾、塾長、南條君則さんを含め5名の方を講師にお迎えし、森林伐採体験を行いました。県境にほど近い森林の中で行いました。

ヒノキ枝打ち体験では、ノコを使って細い枝打ち作業・切り倒しでは、成長のあまりよくない木をみんなで協力してノコを入れ、ロープで引っ張って切り倒しました。森林の中での遊びは、木の上からロープを垂らし、ブランコなどを楽しみました。

最後に塾長が、今日の体験をきっかけに、自分たちの森林を守っていかれたらと思う。とおっしゃられていました。子どもたちも貴重な体験ができたと同時に森林を守っていく大切さを実感できた学習となったのではないのでしょうか。



つなげよう！  
ともだちの

わ！！



（寄稿していただいた方におともだちを紹介していただくペンリレー。佐治のみなさんに参加していただくコーナーです。）



岡村 裕子さん  
からの紹介

＊子どもの保護者つながりで…

堀田 恵子さん 津無



125  
人  
目

## 『最近感動した事』

こんにちは！

津無に生まれ46年、高校生と小学生の母として奮闘中の堀田恵子です。仕事は、車で片道45分に所在するセフサ開発・製造販売会社に勤務して28年目となりました。

セフサの用途は、防犯用・自動照明器具・火災警報器など幅広いです(△▽△) / さて、私が最近感動した事、それは、高校2年生の甥が言った言葉です。甥と何気なく将来について会話していたら、「就職は鳥取です」と言うので、私は即座に「県外の方が就職先が多いんじゃない？」と返しました。すると、甥は「鳥取で就職し、梨も作る」と言うのです。私にはとても衝撃的な発言でした。我が家は、祖父が始めた梨農家で、父も現役で梨を栽培しています。しかし、誰も甥に梨栽培をお願いした事は一度もありません。甥の内に秘めた気持ちに、大きな成長を感じました。

佐治地区人権・同和教育推進協議会



## 小グループ学習会

今年度も、小グループ学習会を開催します。

小グループ学習会では、その地域の中で生活をしている住民のみなさんが主役です。誰かの人権を侵すことなく、また、自分自身の人権を守るために学習する、私たち一人ひとりの学びの場となっています。

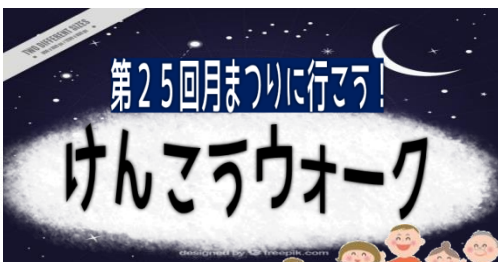
今年度は【第1部】人権全般について・【第2部】個別の人権問題について3つのテーマから1つ選んでいただき、そのテーマについて学習していただきます。

第1部

- 人権全般について  
DVD視聴(25分)人権のヒント「思い込み」から「思いやり」へ 意見交換

第2部

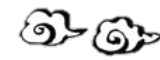
- ① 部落問題  
DVD視聴(36分)あなたに伝えたいこと ワークシートを使って意見交換
- ② 障がいのある人の人権  
障がいのある人に対する偏見・差別を考える ワークシートを使って学習する
- ③ 慣習・因習について  
六曜・慣習について知る ワークシートを使って学習する



9月14日(土)16:30～毎年恒例のけんこうウオークが開催されました。大人26名、子ども3名の参加者があり、クイズラリーをしながら、アストロパークをめざしました。約1時間かけて到着！みなさん、いい汗を流しました。



主催：佐治町健康づくり地区推進員会  
共催：佐治町しんしゃん体操普及員会  
佐治町まちづくり協議会



歴史探検家  
西尾正之氏

## 【佐治歴史小話・10】思わぬ展開



佐治四郎重貞にとっては「思わぬ展開・意外な結末」が待っていた。和田義盛は敗死。重貞へ恩賞として佐治郷の地頭権が与えられたのだ。この時、重貞が幕府からもらった、訴えに関する判決を書いた下知状(げちじょう)(関東下知状案＝重要文化財)が残っている。この訴訟(裁判)で、重要なのは「重貞が訴え出た事柄を幕府は十分に審査をしていない」と云うことだ。訴訟と云うのは今でも同じだが長い時間がかかる。この訴訟は重貞が和田合戦で北条方に味方した功績により、幕府は重貞の言い分を全面的に受け入れ、たいして審議もせず父道貞の譲り状の通り判決を下したのである。佐治氏は佐治郷の支配を確立するために、中央との関わりを持ったことで同族との争いに勝ち抜き、その後200年程の佐治郷の支配の基礎を築いたのである。小坂博之氏によると「この結末により、佐治郷と八上郷の同族間の間柄は陰悪になった」と云う。

★・・・私は佐治でも山の上の山間僻地(へきち)・上津無に住んでいる。たまに訪ねて来た人が本人の私を前にして(人は何故こんな山の中に住む様になったのだろう?)と云う人が多い・・・それも何故か歴史研究をしている人に多い。農業の成り立ちを知らない人が佐治の歴史を語ると「農業軽視」の話になってしまう。そして最後は「平家の落ち武者」がどうこうの話になってしまうのだ。佐治は農業で成り立った村だ。【文責・西尾正之】